

科目名	PBL-X：企業社会論A
成績入力担当	鶴田 宏樹
開講区分	第2クォーター
曜日・時限	水5
教室	鶴甲第1キャンパス
授業のテーマ	<p>急速に進むグローバル化によって政治、経済、雇用など、あらゆる面で社会環境の変化が促されている今日、新しい価値の創造（イノベーション）を通して社会の変革をリードしてゆくことこそが、若者達に期待されている最も重要な役割です。未来の日本のリーダーとして、この役割を担いうる「力」を身に付け、社会の変化に流されることなく社会人、職業人として自立するためには、できるだけ早い時期から社会の変化と求めるものを積極的に学び、明確な職業観の上にならばキャリア形成を目指すことが大切です。</p> <p>「新しい価値の創造とはどういうことか」、「将来どのような仕事につきたいのか」、そして「どのように社会に関わり、どんな人生を送りたいのか」をよく考え、将来の希望進路に向けて準備を始めておくことは、かつてないほど重要になっています。</p> <p>しかし、大学で学ぶ若者が、社会の現実を知る機会は限られており、新しい価値の創造を通して社会に貢献できる人材となるための心構えを身に付けたり、生きがいや幸福感を感じることができキャリア形成について明確なイメージを描くことは非常に難しいのが現状です。</p>
授業の到達目標	<p>「企業社会論A」の目的は、日本を代表する企業等の第一線で活躍されているリーダーの方々を招聘し、企業活動の実態や産業界の将来展望などに関する最新情報を講義していただくことによって、神戸大学生が「新しい価値の創造者（イノベーター）」として自律的キャリアデザインを図るために必要な知識を学ぶ場を提供することです。この授業を受講することによって、イノベーションとはどのようなことであるかを具体的に理解したうえで、受講生ひとりひとりが望ましい職業観と主体的に進路を選択する能力をしっかりと身につけることを期待します。</p>
授業の概要と計画	<p>日本企業、外資系企業等広く産業界から、マーケティング、営業、研究開発など様々な職種の講師を招聘し、普段の大学の授業では聞くことが出来ない企業活動の実態など実社会に関する貴重な情報を学ぶ機会を設けています。特にキャリアデザインにおいては、自分が何に生きがいや幸福感を感じるのか、どんなことに遣り甲斐を感じるのかを知ることが最も大事なことです。講師の先生方には、御自身の夢や志、そして、将来の日本のリーダーとなる神戸大学生に期待する人材像についても語っていただきます。受講者生の皆さんには、自分の生き方や将来の進路に対するイメージをより明確なものにするとともに、これからの大学生活で、何をどのように学び、どんなことを経験しておくことが必要なのかを考えるきっかけにして貰いたいと願っています。</p> <p>○講義日程</p> <p>第1回（6月14日）オリエンテーション（コーディネーター：鶴田宏樹・バリュースクール）</p> <p>第2回（6月21日）発展する中小企業（フードテクノエンジニアリング社長 野田憲司）</p> <p>第3回（6月28日）国家公務員（文部科学省 室長 篠原量紗）</p> <p>第4回（7月5日）国会議員（元参議院議員 林久美子）</p> <p>第5回（7月12日）起業家/家事代行業（ベアーズ副社長 高橋ゆき）</p> <p>第6回（7月19日）自治体/起業家（元神戸市/起業家 秋田大介）</p> <p>第7回（7月26日）自治体（元豊岡市長 中貝宗治）</p> <p>第8回（8月2日）まとめ（鶴田宏樹）</p> <p>（注）講師の先生方のご都合により、順番が変わることがあります。</p>

履修上の注意（関連科目情報）	<p>この授業の関連科目は、第3Q～4Q木曜5限開講の「職業と学び—キャリアデザインを考える」（社会の各分野で活躍する神戸大学卒業生によるリレー講義）です。準備学習としては、各講師の勤務先企業等についてホームページや図書などであらかじめ調べておくこと。また、復習としては、授業で聞いた用語やキーワード、あるいは人物等について調べ、それらを自分の言葉で説明できるようにしてください。この授業はイノベーション教育およびキャリア教育の導入プログラムとして位置づけられており、1年次学生を対象としていますが、2年次以上も履修できます。履修を希望する学生は、オリエンテーション（第1回講義）に出席してください。</p> <p>この授業では、遅刻、途中入場・途中退室、私語は厳禁です。授業中携帯の電源は必ず切っておいてください。</p> <p>貴重な時間を割いてこの講義のために準備し、遠路お越しくださる先生方に失礼に当たりますので、マナーを守る自信のない人やアルバイトや部活等で欠席しがちな人は履修を控えてください。毎回、授業の感想、意見、質問等を提出してもらいますので、授業中は講師のお話を静聴してください。</p>
学生へのメッセージ	<p>新しい価値の創造を目指し、自立した人間として生きてゆくためには仕事に就くことが不可欠です。仕事は経済的自立をもたらすだけでなく、社会に貢献し、それぞれの夢と志に添って自分らしく生きる自己実現の場でもあります。それゆえ、学生の皆さんにとって、将来の進路決定は、専門知識を学ぶことと並んで、最も関心の高いことだと思います。</p> <p>「企業社会論A」は、第3Q開講の「企業社会論B」の基礎編として、産業界の現状や将来展望、そして現実の企業や仕事についての情報を幅広く提供することによって、これからキャリアプランニングに臨む神戸大学生が、自分をみつめ、職業観を醸成する一助となるようデザインされています。皆さんの眼前に広がる現実の企業社会は計り知れないほど広くて奥深いものですから、その全てを8回の講義だけでカバーすることは到底出来ません。したがって本コースで学ぶことは現実社会のほんの一部分に過ぎないものかもしれませんが、産業界の第一線で活躍されている講師の先生方とのコミュニケーションを通じて、自分の夢と志、そして自分の可能性について必ず新たな発見ができると思います。</p> <p>人生の選択肢の幅を広げ、有意義な学生生活を送るために、この授業を活用してください。</p>
参考書・参考資料等	適宜授業中に指示。